



財団法人味の素の文化センター

〒108-0074 東京都港区高輪三丁目13番65号味の素グループ高輪研修センター内

TEL: 03-5488-7318

2012年 7月20日

食の文化シンポジウム2012
「火と食」—ヒトはいつから火を使い始めたのか

財団法人味の素の文化センター(1989年設立 理事長:山口範雄 所在地:東京都港区)は、味の素グループ高輪研修センターにおいて、食の文化シンポジウム2012「火と食」—ヒトはいつから火を使い始めたのか—をテーマに開催します。

【「火と食」開催概要】

- 日 時 : 10月20日(土)13:30~17:00
(受付 12:30より)
- 会 場 : 味の素グループ高輪研修センター 大講義室
- 参加費 : 無料
- 定 員 : 250名(申込先着順)
- 主 催 : 財団法人 味の素の文化センター
- 後 援 : 味の素株式会社



テーマ: 「火と食」—ヒトはいつから火を使い始めたのか—

(概要)「人類史における最大の出来事は人間が言葉をしゃべる動物になったことと、火を利用する動物になったこと」と言われている。この火のエネルギーを介して人間は自然を利用し熱を利用し料理をする動物になった。それは人類の食生活における革命であった。“火”がもたらしたものを人間・生活そして食べるという角度で今一度考えたい。

講演者: 基調講演「火と調理の起源」—火は人間をどう変えたか—

山極 寿一氏 (京都大学大学院 理学研究科 教授)

パネルディスカッション

コーディネーター 朝倉 敏夫氏 (国立民族学博物館 教授)

パネリスト 江頭 宏昌氏 (山形大学 農学部 准教授)

原田 信男氏 (国士舘大学21世紀アジア学部 教授)

山極 寿一氏 (京都大学大学院 理学研究科 教授)

山下 満智子氏(大阪ガス株)

エネルギー文化研究所研究員)

申込方法: 以下の必要事項をご記入の上、郵送、FAX、またはe-mailにて10月8日までにシンポジウム事務局までお申し込み下さい。

- ①お名前・ふりがな(ご同伴者がいらっしゃる場合には、その方のお名前・ふりがなもご記入下さい)
- ②ご住所(郵便番号もご明記下さい)
- ③電話番号・FAX番号・メールアドレス
- ④ご職業
- ⑤シンポジウムをお知りになった方法

申込先：(郵送の場合)〒104-8680 郵便事業株式会社晴海支店郵便私書箱80号
「食の文化シンポジウム2012」事務局係

(FAXの場合)03-3552-0890

(e-mailの場合)syokusympo@ajinomoto.com

※郵送またはFAXでお申込の方には入場券をお送りいたしますので、当日ご持参下さい。

e-mailでお申込の方には受信確認のメールを送信した後、入場券を送信いたしますので、出力してご持参下さい。

問い合わせ先：

財団法人 味の素食の文化センター 食の文化シンポジウム係

電 話：03-5488-7318

受付時間：10:00～17:00(平日12:00～13:00及び土日・祝日を除く)

※9月上旬より、ホームページにも掲載します。

<http://www.syokubunka.or.jp/news/symposium/>

【財団法人 味の素食の文化センターについて】

味の素株式会社が、1979年に創業70周年記念事業として開始した食文化事業を継承し、さらに公益的次元に発展させるため、1989年、創業80周年の節目に農林水産大臣の許可を得て設立しました。設立の主旨は、「食」を学問・文化として考察し、その成果を広く社会に発信することを通じて、ひとびとの豊かな食生活に貢献すること。具体的な活動として、「食の文化フォーラム」や「食の文化シンポジウム」の開催、食文化誌『ヴェスタ』(季刊)の発行、食の専門図書館「食の文化ライブラリー」や「食文化展示室」の運営などを行っています。

理事長：山口範雄

所在地：〒108-0074 東京都港区高輪3-13-65

味の素グループ高輪研修センター内

公開施設：食の専門図書館「食の文化ライブラリー」及び「食文化展示室」

<開館日>毎週月～土曜日

<開館時間>10:00～17:00

<休館日>日曜日・祝祭日・年末年始・図書整理期間

※詳細はホームページをご覧ください。

(<http://www.syokubunka.or.jp/facilities/library/schedule/index.html>)